

機械器具(51) 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 吸引キット 13846000

羊水吸引カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

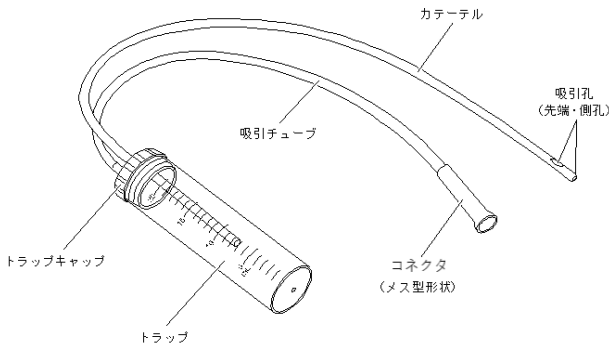
＜使用方法＞

- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。

**1. 各部の名称



	フレンチスケール	外径	色・透明性
カテーテル	10 Fr	3.33 mm	無色・半透明
吸引チューブ	12 Fr	4.0 mm	無色・半透明
トラップ*	—	—	無色透明

※ 1 mL ごとに最大 20mL まで目盛が付されている。

2. 体に接触する部分の組成

ポリ塩化ビニル

**3. 原理

本品は、コネクタに接続したシリンジ又は吸引器で吸引し陰圧をかけることで、患者の様々な分泌物をチューブを介して吸引できる。また、吸引された分泌物等をトラップに回収し、検体検査に使用することもできる。

【使用目的又は効果】

本品は、気管内異物・娩出児の羊水・小児術後の分泌物の吸引、痰等の採取を目的とした器具である。また、本品は未滅菌品であるが、そのまま使用するものではなく滅菌品の製造に供するものである。

【使用方法等】

- 1) 本品は未滅菌品である。使用の際には必ず滅菌すること。
滅菌方法: 電子線滅菌またはエチレンオキシドガス滅菌
※エチレンオキシドガス滅菌の場合、使用の際は残留エチレンオキシドガスが低減されている必要がある。
- **2) カテーテルを口腔、鼻腔から挿入しコネクタより吸引器で羊水等を吸引、採取する。
- 3) 以下に羊水吸引の一例を示す。
- ・新生児の鼻腔が真下に向いていることに留意し、鼻孔内にカテーテルを挿入して羊水を吸引する。
 - ・新生児の口を開かせ、口腔内、咽頭内の羊水を吸引する。
- 4) 必要に応じ、吸引した羊水等の粘液の量をトラップの目盛で確認する。
- 5) 吸引した羊水等の粘液を検体検査に使用する場合は、トラップキャップを外し、トラップ内の羊水等を採取すること。

- 6) 一回の吸引時間はなるべく短くすること。羊水等の量が多く、一回の吸引で不十分な場合は必ず途中で休み、患者の状態を確認した後に行うこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 本品は未滅菌品であるため、使用前に必ず滅菌すること。
- 2) 本品使用時、可塑剤が溶出する可能性があるため注意すること。
- **3) 羊水等の吸引前に、コネクタが吸引器に確実に接続されていることを確認すること。
- *4) カテーテルを経鼻挿入する際には、鼻腔および気管の粘膜を傷つけないように注意すること。また、それ以外の部位に挿入する場合でも、組織または粘膜を傷つけないように注意すること。
- 5) 吸引チューブおよびカテーテルを鉗子等の硬いもので挟んで傷をつけないこと。
- 6) 本品を使用する際は、トラップを傾けて使用しないこと。また、トラップの目盛以上に羊水等を吸引しないこと。
- 7) 吸引後、カテーテル内に残った吸引物が患者へ逆流するのを防ぐため、カテーテル内に吸引物が残らないことを確認すること。
- 8) キャップを外すときは、吸引物がこぼれないよう、また、手指に付着しないよう慎重に行うこと。
- 9) トラップを検体保存用の容器として使用しないこと。
- 10) 包装開封後はすぐに使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、高温多湿、直射日光を避けて保管する。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載〔自己認証データによる〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL: 048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)